

原油・原材料高騰による経済影響対策〈林業分野〉

林業振興・環境部

原油・原材料高騰による経済影響対策

原油・原材料高騰（影響は主に供給面）	
	2. 原材料高騰
影響	<p>【製材事業体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の主要な製材事業体に聞き取りした結果、燃料費高騰の影響は継続中 ・特に、木材乾燥機や現場で使うフォークリフト等の重機類に使用する燃料費の負担が大きい <p>【林業事業体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の主要な林業事業体に聞き取りした結果、燃料費高騰の影響は継続中
	<p>【製材事業体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内産原木の運搬費等に対する支援（県産材加工力強化事業費） - 原木安定取引推進事業） R4.6月補正：7,000千円 <p>《概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製材事業者が調達する県内産原木の運搬費等を補助する。 <p>《補助対象》協定に基づく原木調達</p> <p>《補助率》700円/m3</p> <p>《対象者》県内製材事業者</p> <p>《期待する効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内流通木材の確保による安定した原木の調達 ・ 県産製材品の需要に対応した増産
林業	<p>【製材事業体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 木材乾燥施設（バイオマスボイラー）導入等に対する補助（県産材加工力強化事業費-加工力強化整備事業費（品質向上）） R4当初：予算額30,270千円の内数 <p>《概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原油高騰への対応及びグリーン化を推進するために、木質バイオマスボイラーを使用した木材乾燥施設の導入等を支援する。 <p>○ 原油高騰やグリーン化に対応した設備投資に対する支援（県産材加工力強化事業費-加工力強化整備事業（グリーン化）） R4.6月補正：40,800千円</p> <p>《概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原油高騰への対応及びグリーン化施策を推進するため、電動フォークリフト等の導入を支援する。 <p>《対象施設》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械等導入：電動フォークリフト、充電器 ・ 電気設備：電動フォークリフトを導入するために必要な電気設備工事に要する経費 <p>《補助率》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械等導入：1/2以内(補助上限額3,500千円) ・ 電気設備：1/2以内(補助上限額1,000千円) <p>《実施期間》令和4年8月～令和5年3月</p> <p>《対象者と対象者数》県内木材加工事業者、木材関連団体</p> <p>《期待する効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電動フォークリフト導入による燃料費の削減及びCO2排出量の削減 ・ 就労環境の改善(騒音・排ガス)
	<p>【林業事業体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子エンジン、刈り払い機の電動化に対する支援（可搬式林業機械電動化推進事業費補助金） R4.6月補正：7,934千円 <p>《概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料高騰への対応や、CO₂の排出量削減、機械の振動、騒音問題の解消を図り、労働環境の改善を進める。 <p>《補助対象》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電動子エンジン、電動刈払機ほか、充電器やバッテリー等の購入に要する経費 <p>《補助率》1/2以内（補助上限額80千円）</p> <p>《対象者》林業事業体</p> <p>《期待する効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料費やCO₂の排出量の削減 ・ 低振動化による労働環境の改善

木材利用を取り巻く環境

- ・森林資源の成熟化により、伐採利用が可能な林分が増大
- ・輸入材に依存するリスクを低減させるため、国産材にシフト
 ※輸入材の減少に伴う住宅着工の遅れや製材品価格の高騰
- ・グリーン化（都市の脱炭素化）のための木材利用の促進

県内製材事業者の課題

- ・輸入材からの代替需要に応えられる県産材製品の供給能力の向上
- ・非住宅分野に進出するための高品質な製品の供給能力の向上
- ・経営（マネジメント）力の強化
- ・技術者の確保

対策

- ・サプライチェーンマネジメントの強化
- ・生産設備の強化、JAS認証等の取得
- ・事業戦略に基づく経営
- ・技術者の育成

サプライチェーンの強化を総合的に推進



R4：1000円/m3支援

協定締結の推進による県内流通木材の確保(追加支援)

さらなる環境の変化

ウクライナ情勢の影響による国産材代替需要のさらなる増加に対応するため、県産流通木材の維持・拡大のための支援が必要。

①応需能力の高い協定取引の促進

- 短期間の取引条件を固定し、期間終了前に取引条件を更新
- ・四半期（3ヶ月）ごとに取引量・単価を取り決めるクォーター制など
 - ・協定取引量の増加又は新規協定の締結を推進

【取り組みのポイント】

原木供給側が優先的に納材できる取引条件を提示
 ⇒ 通年の協定と比べて、短期での原木調達の確実性が高い

6月補正予算(案)

○予算額 7,000千円

○支援内容

R4当初予算：1,000円/m3

6月補正：700円/m3

計 1,700円/m3
 (上限3,000千円)

目指す成果

1. 事業者の経営が安定

- ・原木供給量や単価の取り決めにより価格の乱高下を抑制
- ・チャンスロスの減少による利益還元を拡大

2. 県産製材品の需要に対応

- ・他県への原木の流出を抑止することによる県産製材品の需要に対応



◇原油高騰による県内製材工場等への影響

○県内の主要な製材事業体に聞き取りした結果、3月の燃料費は増加(対前年同月比39%)
 特に、木材乾燥機や現場で使うフォークリフト等の重機類に使用する燃料費の負担が大きく、何らかの対策を講じることが必要との回答

◇対策 6月補正予算(案) 40,800千円

原油高騰への対応及びグリーン化施策を推進するため、**電動フォークリフト12台の導入**を支援する
 《対象施設》機械等導入:電動フォークリフト、充電器
 電気設備 :電動フォークリフトを導入するために必要な電気設備工事に要する経費
 《補助率》 機械等導入1/2以内、電気設備1/2以内及び補助上限額1,000千円
 《補助対象》 県内木材加工事業者、木材関連団体
 《期待する効果》 電動フォークリフト導入による燃料費の削減、就労環境の改善(騒音・排ガス)、**グリーンエネルギー使用によるCO2排出量の削減**

【高知県脱炭素社会推進アクションプラン】

・項目:省エネルギー性の高い設備・機器等の導入促進
 ⇒温室効果ガス排出削減見込量:2,916t-CO2
 電動フォークリフト12台⇒72t/2,916t(2.5%寄与)
 ※県内全体で106事業者がフォークリフト使用。
 ⇒県内全域に広がり100台の導入が進むと
 600t-CO2「20.5% 貢献」

◇導入機械等のイメージ

○電動フォークリフト

○充電器

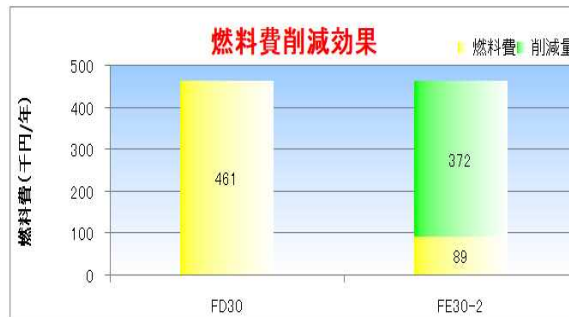


◇電動フォークリフト導入による燃料コスト・CO2削減効果

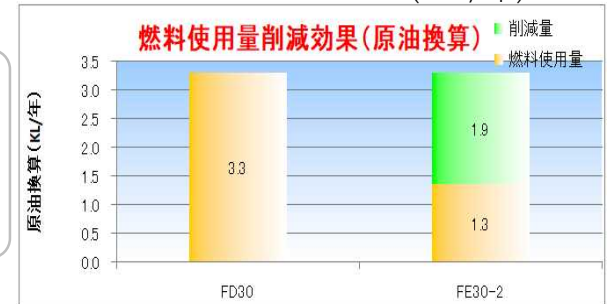
(1台当たり/年 FE30-2型導入の場合メーカーの試算より)

12台導入すると▲ 72.0(t-CO2/年) の削減効果
 ⇒年間で**スギ5,184本分のCO2吸収量に相当**
 ⇨木造住宅**12棟分の炭素貯蔵量**

2.燃料費削減効果 ▲ 372(千円/年)



1.燃料使用量削減効果 (原油換算) ▲ 1.9(kℓ/年)



3.CO2削減効果 ▲ 6.0(t-CO2/年)

